

## 研修のねらい

- 職員のコミュニケーションストレスを軽減する組織マネジメントの実践方法を学びます。
- 組織マネジメントに役立つ組織の成功循環モデルについて、演習で実践的に学びます。
- 自職場の現状整理、課題抽出を行い、職場環境改善に向けた行動計画を策定します。

この研修では、まず、風通しの良い職場づくりがもたらす良い点について話し合い、風通しの良い職場への理解を深めます。次に、組織の成功循環モデルについて、4つの質(「関係」「思考」「行動」「結果」と、悪循環と好循環の違いについて理解を深め、自職場の現状を整理します。

その後、「関係の質」「思考の質」「行動の質」について、演習を通して学びます。

「関係の質」では、心理的安全性についての理解を深めた後、アサーティブコミュニケーションについて、ロールプレイを通して実践的に学びます。

「思考の質」では、コミュニケーションの3段階(「会話」「対話」「議論」)を理解し、会議進行で結論へ導くファシリテーションスキルを習得します。

「行動の質」では質を向上させる動機づけ要因と向上を妨げる衛生要因(不満足要因)への理解を深め、自職場の振り返りと風通しの良い職場づくりに向けた行動計画を策定します。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

## 1日コース

		1日コース	
午前	1. 風通しの良い職場とは	2. 組織の成功循環モデルとは	
	(1) 風通しの良い職場とは ◇ 演習「風通しの良い職場とは?」◇	(1) 「組織の成功循環モデル」とは (2) 「4つの質」 (3) 好循環と悪循環の違いとは ◇ 演習「自職場の現状整理」◇	
	(2) 風通しの良い職場がもたらすもの ◇ 演習「風通しの良い職場の良い点」◇		
	(3) コミュニケーションコストとは ◇ 演習「話しやすい職員の特徴」◇		
午後	3. 関係の質を向上させる	5. 行動の質を向上させる	
	(1) チームの心理的安全性を高める (2) アサーティブコミュニケーション ◇ 演習「ロールプレイング」◇	(1) 行動力を高める動機づけ要因の活用 (2) 行動力を弱める衛生要因の見直し (3) 自職場の振り返りと行動計画策定 ◇ 演習「振り返り・行動計画の策定」◇	
	(3) コンセンサスゲーム ◇ 演習「NASAゲーム」◇		
	4. 思考の質を向上させる	6. まとめ	
	(1) コミュニケーションの3段階 (2) 会議進行で生かすファシリテーション (3) 意見が対立したときの対処法 ◇ 演習「ロールプレイング」◇ ◇ 演習「風通しの良い職場づくり(課題)」◇		